

地域で子どもを見守ろう



日生中央交番で警察官から最近の状況など情報収集する指導員の皆さん

特派員報告

いながわ



高橋 祐子



田野 香織

夜、黄緑色のベストを身に着けた人たちが、パトロールする姿を見かけたことはありますか？
今回は、ボランティアで青少年を見守る活動をしている「青少年指導員」について報告します。

青少年指導員の活動を紹介します

青少年指導員とは？

猪名川町では、平成12年6月から始まった活動で、自治体によっては「青少年補導委員」と呼ぶところもあります。

現在は、青少年健全育成推進会議、PTA、学校の先生などで構成されていて、39人が6つの班に分かれて活動しています。

活動内容は？

主な活動は、青少年を犯罪

や非行から守るための見回りと声かけです。抑止効果が期待でき啓発につながります。

定期的な見回りは月に6回、当番の班が夜に行います。町内の大きな公園やコンビニ、商業施設などを中心に見回ります。

巡回場所は、当日に当番の班が決めます。時節を考慮したり、「不審者が出た」「公園で花火をした形跡がある」「夜にたむろしている」など事前の情報があれば指摘の場所を巡回します。

また、他の青少年関連団体、警察、学校や近隣市町と

連携して情報交換や共同巡回、研修会や講演会などへの参加も行っています。

ある夜のパトロール

6月26日、指導員による夜間パトロールに同行させていただきました。

生涯学習センター1階ロビーに集合後、総合公園を出発しました。

横断歩道を渡り遊歩道に入ったところで、「この防犯灯、電球が切れている！」役場に通報するため所在場所

と番号を控えました。大原公園沿いを歩きながら、バイクの乗り入れなどがないかチェックしました。若葉の商業施設に到着。不

必要に歩いている青少年がいないか見て回り、懐中電灯



で暗い茂みも照らしながら、さんさん公園へ移動しました。

「トイレは必ずチェックします」と中を確認し、公園全体を目視した後、若葉住宅街を進みました。放置自転車を見つけたので、登録番号を控えました。

歩きながら出会う人たちに「こんばんは！」とこやかにあいさつし、相手が青少年なら「危ないから早く帰ってね」と温かく話しかけておられました。

ベスト姿の集団に遭遇すると、大人も子どももはたと表



徒歩でチェックしながらグループで見回ります

青少年指導員会の堀口会長にインタビュー



堀口 初恵さん

活動で心がけておられることは？

子どもたちの気持ちを理解し、彼らの味方であることです。声をかけるときも、心配しているのだと伝わるように心がけています。

このことは、活動現場で、青少年に体当たりで接しておられた先輩から学びました。今までで、印象に残っている出来事はありますか？

以前、地域の催しでバイクを乗り回す子がいたとき、若いお父さんたちが進みでて「君自身がけがをするよ、自分を大事にしないと」と諭し

てくれたことがあります。

指導員でない人たちが関心を持ちながら、「迷惑だ」「禁止だ」ではなく、その子の身に立った話し方をされたのがうれしかったです。

活動で、子どもたちはどんな様子ですか？

以前は、バイクでの暴走や集まって喫煙するなどわかりやすかったのですが、最近は

地域の子どもたちに声をかけてみてください

そういう事例が減りました。総体的にも静かでおとなしい印象を受けますが、話しかけると会話してくれそうです。

青少年に関する心配事が減ったということですか？

少子化で人数も減っています。問題があっても隠れて表面化しない感じがします。万引きが増えていますし、

見えにくい状況は虐待や不審者による被害を生みやすいです。

また、世間には合法ドラッグの問題も出ているので、私たち指導員も町内に入れないよう勉強が必要です。

問題が見えにくいだけに、より配慮が必要ですね

今後目指すところは、積極的に子どもに関わろうとする姿勢を地域に広げ、「地域ぐ

地域の子どもたちに声をかけてみてください

るみで子育て」を実践することです。そのためには、町内にある防犯委員、民生委員、まちづくり協議会など、青少年関連以外の組織との連携も大切です。

町のみなさんが協力できることはありますか？

大人は自分の子どもだけでなく、地域の子どもたちにも

目を配り、声をかけてほしいです。また、子どもたちはま

ずあいさつをしてほしいです。家族以外にも出会う人に、「おはよう」と言ってみてください。

みんなが互いに関心を持つということですね

子どもが育つ環境として、心の豊かさ、人と人がつながりあう温かい環境を大切にしたいです。

私には成人した3人の子どもがいます。幼い頃は賑やかに遊ぶのを近所の皆さんが温かく見守ってくださり、子どもが病気などで困ったときにはいつも助けてくださるなど、感謝の中で子育てをすることができました。

感謝の気持ちを、この活動を通じてお返ししたいし、そんな連鎖を若い世代につなげていけたらと思います。

編集後記



8月26日の音楽祭「BEAT!!」終了後の見回りや、12月には川西市青少年補導委員と合同パトロールが予定されています。楽しい夏休みを安全に過ごして欲しいと、指導員たちは願っています。皆さんも地域の子どもたちに声をかけることから始めてみてください。また、家庭でも、子どもと向き合う夏休みにしてみませんか。